

試合番号 : 271	試合会場 : 香陵アリーナ (沼津市総合体育館)	観客数 : 1,911			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:40	試合時間 : 01:40			
主審 : 中山 健	副審 : 村中 伸				
東レアローズ	通算 17勝 18敗 ポイント : 48	VC長野トライデンツ	通算 2勝 33敗 ポイント : 9		
監督コメント	今日は、藤井直博選手を3-0のストレート勝利できたことを嬉しく思います。各自が藤井への思いを胸にしかり戦えたと思います。明日の最終戦に勝利してファイナルステージ進出を決められるよう準備したいと思います。本日はたくさんの応援ありがとうございました。	3	0	監督コメント	各セット共にセット中盤までは良い形で戦うことができていましたが、自チームからのミスが出てしまい、また東レの粘りあるブロック、レシーブに苦しめられ、セットを取ることができませんでした。良いプレー等、チームとしてたくさん出ているところもあったので、明日もその辺りは継続していきたいです。明日、V・レギュラーラウンド最終戦になりますが、最後までしっかりと全員で全力で、また楽しみながら戦い抜きたいです。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。明日もよろしくお祈りします。
要約レポート	ファイナル進出に向け負けられない東レアローズがホームにVC長野トライデンツを迎えるの一戦。また、2023年3月10日に逝去された藤井直博選手に哀悼の意を表し、東レ選手が左腕に21番をつけて戦う追悼試合。第1セット、序盤から両者一進一退の攻防を続ける。東レは中盤にバダルの強烈なスパイクでブレイクを奪うも、VC長野・中村のスパイクやトレントのブロックで終盤に逆転する。デュースとなり、最後はバダルのサービスエースで東レがセットを先取した。第2セット、東レは酒井の巧みなトスでブロックを絞らせない。VC長野も波佐間や工藤のスパイクで応戦する。中盤、東レ富田のサービスエースで流れを掴むと、高橋のブロックで突き放し、このセットを連取した。第3セットも勢いそのままに、東レ山や富田の攻守で主導権を握り試合を優位に進める。VC長野も中野のスパイクで応戦するも、交代が入った小澤、西本のスパイク、難波のブロックが冴えわたり、東レがストレートでこの試合を制した。				

試合番号 : 272	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 2,864			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:27	試合時間 : 02:27			
主審 : 國頭 亮太	副審 : 明井 寿枝				
ウルフドッグス名古屋	通算 24勝 11敗 ポイント : 74	東京グレートベアーズ	通算 16勝 19敗 ポイント : 51		
監督コメント	本日の試合は相手チームの粘り強いプレーに対して、我々も良いプレーで対抗しました。バレーボールはバランスのスポーツですので、相手より良くなければなりません。その中でも我々は自分たちが目指すバランスの良いバレーボールを常に目指して、高いパフォーマンスを発揮することが重要です。これから明日の試合に向けて、良い準備をして備えたいと思います。一人ひとりが成長し続けられるようにチーム一丸となって、我々のファンと最後まで共に闘い抜きます。うらかな春の日が続き続けています。近い将来、世界中の人々にも春が来ることを心より祈っております。Enjoy the competition!	1	3	監督コメント	本日はアウェイにも関わらず、たくさんのピンクのユニフォームを見ることができました。両チーム共にサイドアウトの展開になり、点差が開かず難しいゲームになりました。そんな中でも耐え続け、オフェンスを組み立てることができたので、勝利につながったと思います。また明日、勝つことができれば、プレーオフへの可能性があるため、明日も応援をお願い致します。
要約レポート	第1セット、ウルフドッグス名古屋は、近、水町の攻撃を中心に点数を積み重ねる。対する、東京グレートベアーズは後藤、小田嶋、柳田の強烈なサーブ、武藤のブロックで最大4点差まで駆け先行する。中盤に入り、WD名古屋は山崎、水町の攻撃で猛追し24-24の終盤で追いつく。そこからさらに激しい撃ち合いとなるが、東京GBの柳田がサービスエースを決めて、31-29のデュースを勝ち取った。第2セット、WD名古屋は水町の強烈なサーブで点差を駆けようとするが、東京GBの柳田、古賀の好レシーブで崩し切ることができず終盤まで一進一退の膠着状態が続く。WD名古屋は小山、近の中央からの攻撃で、東京GBはアラウジョ、後藤のサイドからの攻撃で互いにポイントを取り合うが、最後は東京GBの小田嶋がブロックを決めて、このセットも勝ち取った。第3セット、WD名古屋は山田のブロック、水町のコースを抜くスパイクで点数を重ねる。WD名古屋は高橋のスパイク、近のブロック、さらに水町のサービスエースの3連続で一気に7点差まで駆け、その勢いそのままこのセットを勝ち取った。第4セット、WD名古屋は高橋のブロックアウト、水町の強烈なサーブやバックアタックなどで点数を重ねる。対する東京GBはアラウジョ、後藤、戸島のサイドからの攻撃で応戦する。東京GBは19-19から戸島、後藤のスパイクで一気に点差を広げ、試合に勝利した。				

試合番号 : 273	試合会場 : Asueアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	観客数 : 3,404			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:25	試合時間 : 01:25			
主審 : 本間 明	副審 : 戸川 太輔				
サントリーサンパーズ	通算 29勝 6敗 ポイント : 82	ヴォレアス北海道	通算 3勝 32敗 ポイント : 11		
監督コメント	本日もサンパーズへのご声援有難うございました。今年最後のホームゲームということもあり、多くのファンの皆様にご来場いただき、非常に嬉しく思います。エキサイティングな環境で試合を行うことができました。ヴォレアス北海道も様々な選手がコートの中で躍動しており、ゲーム序盤では強いサーブで攻めこまれるシーンもありましたが、レセプション陣がしっかりと我慢しコントロールすることができたことが、相手にもっと強く意識させることにつながり、結果ストレートでの勝利になったと思います。最後まで"PLAY HARD"を実践し、サンパーズらしく戦う姿をぜひ会場でご覧ください。明日も一緒に盛り上がりましょう。	3	0	監督コメント	今日は最初の2セットでアタックが決まりませんでした。サントリーはブロックが良いチームなので、ブロックされてしまうことが多かったです。第3セットの対応は良かったです。より多くのアタックポイントを獲得することができました。第3セットでサーブレシーブができていたら、さらに接戦になっていたでしょう。ブロックやディフェンスは十分でしたが、レセプションや攻撃面での細かい修正が必要です。明日は今シーズン最後の試合となりますが、大勢のサポーターの前でこれほど強いチームと対戦できることは素晴らしい挑戦です。今日も応援してくださったファンの皆様、ありがとうございました。
要約レポート	サントリーサンパーズがヴォレアス北海道を迎えるのホームゲーム。サントリーは自宅の巧みなトス回しから繰り出される攻撃と藤中(颯)の粘り強いレシーブで得点を重ねる。ヴォレアスは根村や後藤の速攻や張の軟硬硬り交ぜたスパイクで追い上げるが、サントリーはアラインの攻撃やムセルスキーの好サーブでヴォレアスを突き放し、セットを先取した。第2セット、サントリーは小野寺の3連続ブロックと速攻による4連続得点で勢いに乗り、そのままセットを連取した。第3セット、両チームは一進一退の攻防を繰り広げるが、ヴォレアスは張にボールを集めてリードする。中盤、サントリーはアラインや小野寺の好サーブで得点を重ねると、地元大阪の大声援に後押しもあり、ストレートで勝利を収めた。				

試合番号 : 274	試合会場 : 大浜だいしんアリーナ (堺市立大浜体育館)	観客数 : 2,743			
開始時間 : 12:05	終了時間 : 13:44	試合時間 : 01:39			
主審 : 森口 豊	副審 : 服部 篤史				
日本製鉄堺ブレイザーズ	通算 18勝 17敗 ポイント : 53	ジェイテクトSTINGS	通算 13勝 22敗 ポイント : 38		
監督コメント	厳しい試合でしたが、選手全員が自分の役割を果たして、自分たちの手でファイナルの切符を掴み取ることができて良かったです。明日もしっかりとファイナルに繋がる試合をして、最後のホームゲームを締めくくりたいと思います。ホームでの熱い応援、ありがとうございました。明日も応援、宜しくお願いします。	3	0	監督コメント	日本製鉄堺ブレイザーズの素晴らしいプレーを讃えたいと思います。明日に向けて良くなかった部分を修正し、今日以上に良い試合ができればと思います。いつもたくさんの声援ありがとうございます。明日は、リーグ最終戦となりますので、多くの応援よろしくお祈りします。
要約レポート	日本製鉄堺ブレイザーズが、ジェイテクトSTINGSを迎えるのV・ファイナルステージを懸けた重要な一戦。第1セット、前半に日鉄堺B2泊田、バーノンのアタックが決まり、12-6とリードを広げると、ジェイテクトの反撃も及ばず、日鉄堺B2が先取した。第2セット、序盤はジェイテクト高橋(慶)、ウルナウトのアタックが決まり、5-2とリードするが、日鉄堺B2のバーノンの高い攻撃により徐々に追いつかれる。終盤までお互い点の取り合いが続くが、日鉄堺B2が竹元のブロックポイントにより一歩抜け出るとそのままリードを守り連取した。第3セット、前半はジェイテクトの攻撃が決まり12-9とリードする。後半、追いつける日鉄堺B2はバーノンのブロックで逆転すると、徐々に点差を広げ、地元の大声援を力にホームゲームを勝利で飾り、V・ファイナルステージ進出を決めた。				

試合番号 : 275		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,910				
開始時間 : 14:05		終了時間 : 15:42		試合時間 : 01:37		主審 : 千代延 靖夫		副審 : 沢田 元		
パナソニックパンサーズ		通算	31 勝	4 敗	25	第1セット	20	JTサンダーズ広島		
			ポイント : 94					通算	22 勝	13 敗
監督コメント	今日の試合はJTも私たちもファイナルシリーズが確定していたこともあり、審判とは違う雰囲気だったと思います。その中で選手にはプレーの質に集中するようにと言い、それをしっかりと実践できていたので良い試合でした。セミファイナルへ向けて大事な試合だと考えていたので、非常に満足しています。明日は、今シーズン最後のホームゲームです。ファンの皆さん、ご声援よろしくお願いいたします。				3	26	第2セット	24	0	V・ファイナルラウンドに向けて、課題、修正点が見つけれられた試合だった。明日の試合も来週に繋がる様な内容のプレーが求められる。ファンの皆様ご声援ありがとうございました。
						25	第3セット	21		
							第4セット			
							第5セット			
要約レポート										
1位のパナソニックパンサーズが、4位のJTサンダーズ広島をホームに迎えての一戦。第1セット、序盤は一進一退の攻防が続き、西山の好レシーブからジェスキー・大塚の攻撃が決まり、パナソニックが抜け出すと、勢いそのままにこのセットを奪う。第2セット、JTは井上(貴)のサービスエースや新井の攻撃で得点を重ねる。中盤パナソニックは深津のサービスエース、西川の攻撃でリードするが、JTも新井・ラッセルの攻撃で追いつく。第3セット、このセットを落とせないJTは新井・ラッセルの攻撃でリードする。パナソニックは西山・ジェスキーの攻撃で追いつくと、エバデダンのブロックで逆転に成功する。JTは三輪や新井の攻撃で追いつけるが、このセットもパナソニックが取り、ストレートで勝利した。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	- 勝	- 敗	第1セット				通算	- 勝	- 敗
			ポイント :							ポイント :	
監督コメント						第2セット					
						第3セット					
						第4セット					
						第5セット					
要約レポート											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	- 勝	- 敗	第1セット				通算	- 勝	- 敗
			ポイント :							ポイント :	
監督コメント						第2セット					
						第3セット					
						第4セット					
						第5セット					
要約レポート											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	- 勝	- 敗	第1セット				通算	- 勝	- 敗
			ポイント :							ポイント :	
監督コメント						第2セット					
						第3セット					
						第4セット					
						第5セット					
要約レポート											